

■芦屋市保有土地（高浜町1番社会福祉施設建設用地）活用事業者提案競技 募集要項等に関する回答【平成28年6月23日事業者説明会に於ける質疑回答】

ID	ページ	内容		回答
1	P.3	2-1	機能 一事業者がすべての必須機能を実施することは難しい。共同応募も可能とされているが、難しいのが現状である。 ①すべてを実施することが難しい現状において、市として、高齢者福祉、障がい者福祉等分野ごとの実施は検討していないのか。 ②高齢者福祉を実施している事業者と障がい者福祉を実施している事業者との顔合わせを市主導で行うことは可能か。	①募集要項の3頁にお示ししておりますとおり、必須機能として6つの機能を整備することを条件としており、各分野別における事業実施は想定しておりませんので、ご理解賜りますようお願い致します。 ②「共同応募」を可能としておりますので、共同応募をお考えの場合は、各事業者間において、協力・連携の程、お願い致します。
2	P.3	2-1	機能 必須事業中、収入が見込めるものもあれば、そうでないものもある。収入が見込めない事業について、市からの補助など見込めるか。	運営費や人件費などについて市の補助は、想定しておりませんので、事業者提案の機能を含めて収支をご検討いただきたいと考えておりますが、説明会でご案内差し上げました厚生労働省において取り組まれています「新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム」において、高齢者・障がいのある人に対するサービスの基準等の見直しを図る協議が進められております。詳しくは、「5」の回答欄のURLをご参照くださいますようお願い致します。
3	P.3	2-1	機能 【必須機能】①全世代交流型スペース及び【必須機能】⑤火災時等緊急利用スペース（屋内）について、適切な人員配置及び宿泊する場合の手立て等事業者側が行わなければならないが、この場合においても市からの人件費等の補助は出ないのか。	①につきましては、「新しい福祉」のご理解を賜り、専門職を含め市民のみならずの多彩な力を活かした取組についてご検討いただきたいと考えております。 ⑤につきましては、現状では、火災発生による宿泊対応が数年に1件程度であるため、平素は、貴法人様において自主的な事業等で活用いただき、火災発生時には、柔軟に対応していただける施設整備をお願いしたいと考えております。よろしくご検討の程、お願い致します。 なお、①、⑤ともに、相当する補助金等は、ございませんが、①につきましては、実施される事業により国・県等の補助金の活用について、検討してまいります。
4	P.3	2-1	機能 障がい者福祉について、計画に挙げているサービスの見込量は現状において妥当であるか。	平成28年6月現在のグループホーム利用者は39人であり、今後の見込量についても適切であると考えています。
5	P.3	2-1	機能 本提案のように一施設内で福祉の各分野を実施・運営している例が全国規模であるのであれば、その一例を教えてください。	現時点において、本事業と同様の趣旨で実施されている複合施設の事例は、無いものと認識しております。 なお、厚生労働省のホームページにおきまして、説明会にてご紹介しました「新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム」の会議資料等から、他府県の取組事例をご確認いただけます。 http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-syakai.html?tid=300056
6	P.3	2-1	機能 市内の障がいのある人が利用するグループホームの稼働率を教えてください。	市内のグループホームの稼働率は、88%となっております。